

今日から待って、いよいよ生徒の夏休みが始まりました。お天気がいいので、お出かけの準備ができています。



自然の恵みを感じ、笑顔がこぼれる瞬間。生徒達の成長を、先生達も嬉しく思います。

滝川生 二〇二二年六月六日に滝川生が淡路島に入港した。ま

# 淡路島新聞

楽しめかた、話題を。お天気がいいので、お出かけの準備ができています。

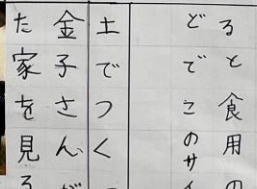


雨降りは、お天気がいいので、お出かけの準備ができています。

コンクリート、土を。お天気がいいので、お出かけの準備ができています。

発行所 淡路島新聞社

た金子さん、お天気がいいので、お出かけの準備ができています。



お天気がいいので、お出かけの準備ができています。



お天気がいいので、お出かけの準備ができています。

タネノチカラで飼育している鶏

# 淡路島に行つて来ました！



理由には虫類のすみかをつくつてあげるためです。そこに住みかをつくる虫を食べてくれるからです。

ぼくたちはタネノチカラという、さまざまなことを体験し、学びました。ここではニワトリを育てており、ニワトリを育てる意味について考えました。ニワトリを育てる意味は、雑草や虫などを食べてくれる、ふんをするとそれが肥料になり、また雑草が育つからです。他にもうねに石を置く理由について学びました。

# 淡路島新聞

発行所 淡路島新聞社



竹は、土を砂に。お天気がいいので、お出かけの準備ができています。



人が土を作る方法として、生物と有機物を腐らせる方法があります。201

# 腐葉土の作り方

お天気がいいので、お出かけの準備ができています。



お天気がいいので、お出かけの準備ができています。

# 淡路島の新玉







兵庫県のたまねぎの9割は淡路島産のたまねぎです。淡路島のたまねぎはとても甘く、しゃきしゃきしています。倉庫にはたまねぎがあり、そこでたまねぎを保存しています。

今回は雨が降り土がどろどろになってたまねぎの収穫体験はできませんでした。せかしたたまねぎの30秒間のつめほうだいをしました。みんなたくさんとれていたのよかったです。ありがとうございました。



おいしいたまねぎを日本に!!

# 澁川新聞

発行日 6月15日(水)  
発行所 淡路島



タネノチカラを下に降していくとなんとたくさん草が広がっていました!! そして2班に分かれてどちらが多く草をかめるか勝負しました。初めは1班が勝っていましたかあとから2班がおいつき最後的には引き分けになりました。けれども両班が引き分けはいけだ」という声がかみこめてきたのでスタッフの人が「ジャンケンで決めよう」となりました。そして両班の代表1班が大西くん、2班が三浦くん、2人がジャンケンして三浦くんが勝ちました。この勝負のあとみんなに笑顔見せたたくさんみられました。

みんなが楽しく草かりをしました!!

## 火起こしマスター

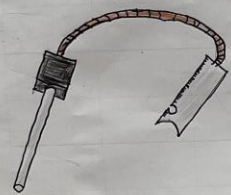
火起こしでは火打ち棒をつかして火を起こしました。し。けがあり火をつけられている人はあまり多くはいませんでした。火を起こすコツはまずあたに空気を入れ火打ち棒をこするようにつけるのがコツです。



なかなかこのような経験はできないのですごく楽しかったです。

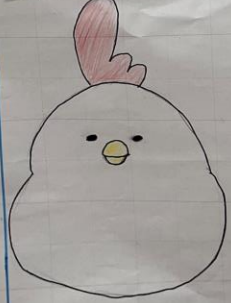


火起こしの様子



火打ち棒

2022 6月15日 水  
ぼくたちは6月6日に「タネノチカラ」に行きました。タネノチカラですごく多くの知識をもらいましたがその中で二つのことを書きます。一つ目は火起こしです。火を出すコツは、鉄の裏の出っぺりしているところを「タネノチカラ」の棒につけてそれを強くこすってつけながら思いっきり押し出すと火花が出やすくなります。火をおこすコツは「タネノチカラ」の棒の先を火をおこしたいものにつけて、タネノチカラを繰り返して行くと空中で火花が飛び出します。火花をおこすとき、一定方向に鉄を押し出す必要はないので、押して引いての繰り返しで擦らせます。タネノチカラが立ちにくいので、一定の方向に押し出すことをオススメします。地震のときにガスが絶たれて火がつかなくなると、たまたまに火打ち棒を使って火をおこす役に立つので、防災グッズにも実用的です。



濱田ファームで玉葱収穫を予定していましたが雨が降ってできなかったため残念でした。

## 感想

二つ目は「タネノチカラ」で「ニワトリ」について知識をもらったので「ニワトリ」のことを書くことと思います。「ニワトリ」についてならたこの中で特に心に残っているのが「ニワトリ」が卵から産まれて1ヶ月半ほどで大人のニワトリの大きさになり出荷されることです。ふだんぼくたちが食べている「コンビニ」などで売っている「ニワトリ」は、1ヶ月半で成長しているひなの肉を食べています。他に卵を産むために「カルシウム」が必要なので自分が産んだ卵の殻を食べていることを知りました。そして卵から産まれて1ヶ月半で出荷されて殺されてぼくたちが食べていることを知ったので、毎食「ニワトリ」を食べるときは感謝して食べていこうと思います。

## 制作者

石修新聞

発行

新玉ねぎと玉ねぎのの違い

の違いの、まず、みなさんは新玉ねぎと、玉ねぎを食べた人は、比べてみると、玉ねぎは、分かりますか？玉ねぎは、は辛く焼くと甘くなります。新玉ねぎは水分が多く、そのまますべておいしく食べられます。



SDGs 研修から学んで、今の地球は、未来の地球のために、SDGsの目標を達成する必要があります。SDGsは、持続可能な開発目標のことで、2030年までに達成を目指す17の目標です。



淡路の竹がり

6月6日、淡路島から船で淡路島に行き、竹がりを体験しました。竹がりは、竹の皮を剥いて、繊維を取り除く作業です。竹がりは、古くから行われてきた伝統的な作業で、現在は、竹製品を生産するために重要な作業です。



淡路島の竹がりは、SDGsの目標12（持続可能な消費と生産）に貢献しています。竹がりを体験することで、竹の価値を知り、竹製品を愛用することで、持続可能な消費と生産を実現することができます。

滝川タイムズ

農業と土

淡路のSDGs取り組み

農業と土の関係をSDGsの観点から見ていきます。農業は、SDGsの目標2（飢餓をゼロに）と目標15（陸の豊かさを保つ）に貢献しています。土は、農業の基盤であり、SDGsの目標13（気候変動に具体的な対策を）と目標14（海の豊かさを保つ）にも関係しています。



SDGsと土の関係は、持続可能な農業を実現するために重要です。土を大切にすることで、農業の生産性を高め、SDGsの目標を達成することができます。

コンポストと土

コンポストは、土を豊かにするための重要な手段です。コンポストは、有機物を分解して生成される肥料で、土の肥力を高め、SDGsの目標15（陸の豊かさを保つ）に貢献しています。

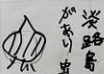


感想

SDGs研修で淡路島に行き、竹がりを体験しました。竹がりを体験することで、竹の価値を知り、竹製品を愛用することで、持続可能な消費と生産を実現することができます。

淡路の玉ねぎについて

淡路の玉ねぎは、生産量第三位と淡路の食べ物として有名です。淡路の玉ねぎは、甘く、柔らかいのが特徴で、全国的に人気があります。淡路の玉ねぎは、SDGsの目標2（飢餓をゼロに）に貢献しています。



淡路島のSDGs取り組みについて、今後も引き続き注目していきます。

ひふふふよ新聞

メソバー

淡路島の出来事  
植物について

タネノチカラ命和四年六月六日(月)  
 僕たちは淡路島に行きました。  
 タネノチカラでは肥料や農薬を使わず  
 に、自然の水や養分などでズッキ  
 ニヤニンジン、ジャガイモなどを育  
 ています。たまにキノコが生えてま  
 す。が、だいたいは毒を持っています。  
 植物の葉の光合成をするのは一部だ  
 で、その他の葉は、虫に食べられて  
 いる物は、ミカンやダボ入る。  
 などの、くさる物と燃やさない物  
 が入ります。年月をかけて、土が  
 壊す事ができません。それは自然  
 で住む事ができません。それは自然



虫が住みヤ  
すい岩と  
野菜の草



土を  
作る  
コン  
ポス  
ニワトリ

害にも強い建物です。  
 タネノチカラではニワトリ  
 も育てたりしています。ニ  
 トリは、一番に卵をニ  
 トリ人間が食べます。ニ  
 トリは虫や草を食べています。

